

Ono's Desk

馬のやさしい目

この度 3 号館のエントランスホールに 100 号の絵が飾られた。私の知り合いで絵画教室を主宰しておられる画家福島房雄さんの傑作である。先月、島田美術館で個展が開かれたので出かけた。淡い色合いで何か秘めたような絵が私に静かに語りかけてくる。白い馬の絵がいくつかあった。馬のその眼がとにかく優しいのである。horse therapy という癒しの治療法が存在することをこの絵を見ただけで納得できた。突然福島さんが遠慮がちに「先生の大学で絵を飾らしてくれないませんか」と言われたのである。「この大きな絵ですか」「100 号の馬の絵です」、私は大学の都合も考えず「お願いします」と即答した。きっと多くの学生に癒しの安らぎを与えるであろうと思ったのである。福島さんは長い間精神的に苦しまれ、その中から懸命に絵を描いてこられた画家である。



馬などをモチーフにした作品を出品している福島房雄さん＝熊本市西区

平成 25 年 5 月 25 日
熊本日日新聞掲載記事

祝福 23 日、熊本市西区島崎の島田美術館で始まった。27 日まで、同市で絵画教室を主宰する福島さん(54)が、油彩や水彩など 30 点を出品。12 年に及ぶ闘病生活を乗り越えて制作を続けてきた福島さんの作品は、馬や海などをモチーフに、淡い優しい色彩で描かれており、独特の詩情を感じさせる。馬を描いた心象画の大作は、神々しささえ漂う。教室の賛助出品している。

6・7月の主な行事予定

6月6日(木)	学術講演会(柳町 隆造氏)
6月15日(土)	校友会(球技大会)
6月19日(水)	化血研評議員会(熊本ホテルキャッスル)
6月20日(木)	安藤忠雄公開講演会(県立劇場コンサートホール)
6月24日(月)~25日(火)	韓国大邱保健大学ナム学長・キム先生他2名来学
6月29日(土)	私大協会「リンク」大会、西里駅清掃
7月6日(土)	脳卒中リハビリテーション看護分野認定看護師教育課程入学試験→7月16日(火)合格発表
7月7日(日)	進学ガイダンスセミナー(熊本学園大学) : 石丸学部長「人はなぜ“がん”になるのか」 : 飯山学科長他「体験して知ろう! リハビリテーションの魅力」
7月12日(金)	小野学長の熊日賞受賞祝賀会・暑気払い会(ホテル日航熊本)
7月21日(日)	オープンキャンパス

リエゾンオフィス

本学は、平成 26 年度に 2 回目の大学機関別認証評価を受審する予定です。それに伴い、6 月 1 日付で中核事務局としてリエゾンオフィスを立ち上げました。岡部副学長・企画課等担当。認証評価は、全学を挙げての自己点検評価活動の特別版。時間と労力のかかる大変な作業ですが、今回も高い評価を目指して取り組みたいと思います。全教職員のご理解とご協力をお願いします。

今年もテレビで学科・専攻紹介!

KAB の「情報ステーション」で本学の学科・専攻紹介の CM が以下の日程で 23 時 10 分から 2 分間ずつ 5 回に分けて流れます。
7 月 8 日：医学検査学科、9 日：看護学科、10 日：理学療法学専攻、11 日：生活機能療法学専攻、12 日：言語聴覚学専攻

ブックレット・パンフレット等のご案内



感染症とリカン—熊本の先達たちの功績—
熊本保健科学大学ブックレット第 5 号が完成しました! 時吉幸男先生(前:教授)の責任編集のもと、小野学長、蟻田功国立病院機構熊本医療センター名誉院長、塩先巧一化血研国際戦略室次席研究員にもご執筆いただきました。

大学案内

大学案内の 2014 年度版ができました。本学の魅力がたくさん詰まった 1 冊です。更に多くの方々に本学のことを知っていただけるようにしたいものです!



CONCEPT 2013

CONCEPT は、平成 24 年度に熊日新聞や、くまもと経済などで本学に関して掲載された記事をまとめたものです。高校訪問や施設訪問等には是非ご活用下さい。



教職員のための学生サポートガイドブック

第 2 版は、「学生相談・メンタルヘルスの立場から」というテーマで作成されています。学生数が 1600 名近くになり、個人が抱えている悩みも様々になってきているようです。日頃の学生との対応にお役立て下さい。



*

ST バイザー会議

5月25日(土)に第1回言語聴覚学専攻 評価・臨床実習指導者会議を開催し、九州・四国を中心とした53施設の方々にご参加いただきました。大塚裕一准教授が、「評価実習および長期実習の進め方のポイント」というテーマで特別講義をされた他、会議では、言語聴覚学専攻の履修状況や、評価実習および臨床実習、学生評価等について説明を行いました。また、会議終了後には、学生面談や情報交換会を通じて、施設の方々との交流を図り、とても有意義な会になりました。



【指導者会議】



【学生との面談】

減災型地域社会のリーダー養成プログラム

5月31日(金)、米国イリノイ州聖アンソニー看護大学のペギー先生ら6人のグループが看護学科の1・2・4年生を対象に特別講義をして下さいました。この講義は減災型地域社会リーダー養成プログラムの一環で、テーマは「アメリカの救急医療におけるチーム協働～災害現場での医療チームの役割と教育プログラム～」でした。看護学科を卒業したばかりのマットさん、エリカさんによる看護研究のプレゼンテーションや、長年フライトナースを経験されたペギー先生のお話など、貴重な内容でした。(文責：竹熊看護学科長)



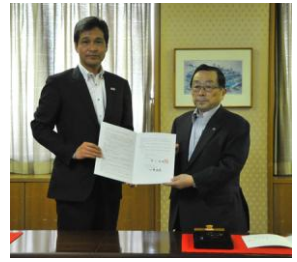
知っておきたい文献の表記法と注意を要する論文の分類 No.1

研究科長の山口康雄教授より、文献の表記法について数回のシリーズに分けてご紹介いたします。

雑誌論文が多数に及び、現代では雑誌の指定する投稿規程 (reference formats) に従うことが必要である。しかし、最初に経験した文献記載法が、唯一の記載法であると勘違いして、いつも同じような記載法に固執している者がいる。まず、文献記載の基本を知ることが必要である。その基本を理解した上で、投稿規程で指定された記載法に従うことが大切である。学内研究申請書、修士論文、人事書類など、個人の業績論文を記載する機会が増えている。しかし、『これが格調の高い記載法である』、『これは、文部科学省の記載法である』と固執する前に、まず基本を知っておくことが大切である。(文責：山口康雄研究科長) ~No.2につづく~

災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定

5月17日(金)に、本学は熊本市と大規模災害発生時に設置する「福祉避難所」に関する協定を結びました。本学では、実習用ベッドや車いすなど多数備えており、災害時には教職員の医師や看護師ら保健医療分野の専門家約100名と学生ボランティアが、高齢者や障害者ら要援護者を支援する予定です。このような形で地域の方々のお役に立てることは、本学としても大変光栄なことです。



学術講演会

6月6日(木)に平成25年度学術講演会を開催しました。今回は、ハワイ大学医学部の柳町隆造教授に「Rhizocephala (フクロムシ) 私の学生時代の研究テーマーまだまだ面白い事がある」という演題でご講演いただきました。80代半ばの柳町教授が、今も現役で研究に取り組んでおられる姿がとても印象的でした。



地域連携活動

5月11日(土)に昨年同様、西里校区グラウンドゴルフ及び健康測定会を本学で開催しました。グラウンドゴルフ大会では、200名を超える方々と本学学生39名が参加し、健康測定会は、血圧測定、握力測定、骨密度測定、体組成測定を実施し、70名の方々に参加いただきました。検査結果について、担当教員より説明を受ける方も多くみられ、満足度が高かったようでした。



【グラウンドゴルフ】



【骨密度測定】

タイ マッサージ

5月1日(水)~31日(金)にコンケン大学からPT教員のアッキー先生と学生1名、タイマッサージ講師の方が来られました。本学教職員向けにタイマッサージ初級コースの指導や、講義などをして下さいました。写真は、PT3年生の『徒手療法学Ⅰ』と『徒手療法学Ⅱ』の講義の様子です。



熊保大オリジナルクリアファイルを売店で発売中(100円)です!